

構造化抄録フォーム

番号	4_2_list_9
タイトル	Bovine-HA spongiosa blocks and immediate implant placement in sinus augmentation procedures. Histopathological and histomorphometric observations on different histological stainings in 10 consecutive patients.
著者名	Zvi Artzi, Carlos E. Nemcovsky, Dan Dayan
雑誌 年;巻:頁	Clin Oral Implants Res 2002; 13(4): 420-7
目的	牛ミネラル・海綿骨ブロック（B-S B）を上顎洞増多術の骨補填材として用いたインプラント埋入術 12 ヶ月後に、インプラント周囲移植部位の治癒を組織病理学的に検討すること。
研究デザイン	<input type="checkbox"/> meta-analysis <input type="checkbox"/> systematic review <input type="checkbox"/> DB-RCT <input type="checkbox"/> RCT <input type="checkbox"/> CCT <input type="checkbox"/> cohort study <input checked="" type="checkbox"/> case control study <input type="checkbox"/> case series <input type="checkbox"/> case report <input type="checkbox"/> others
研究施設	Aviv University Tel Aviv, Israel
対象患者	10 名患者(4 男性、6 女性；36-58 歳平均 49.2 歳)の上顎骨
介入・検査	パノラマ X 線写真 病理組織学的検査（Mallory trichrome 染色、Picrosirius red 染色）
評価項目	平均骨面積分画、平均層状骨／網状骨比率
統計手法	ANOVA P 値<0.01 を有意差あり
結果	レントゲンによる追跡調査はインプラント周囲の増多術を行った部位に骨の添加がみとめられた。 組織学的には、新生骨が認められハイドロキシアパタイト粒子は改造した骨組織に連結していた。 形態計測学的には、辺縁部における平均骨面積分画は 34.2%、平均層状骨／網状骨比率は 1:5.4 であり、深部では各々 53.0%および 1:2.5 であった。これらの部位間の両パラメータには統計学的有意差があった。
尤度比 Odds 比	
結論	B-S B は上顎洞増多術においてインプラントを同時埋入する際の適切な移植材料である事が証明された。
コメント	
記載者	庄司 憲明